

8月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		9,335	97	9,632	92	87	88	0	0.0	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道は若干小ぶりの仕上がりだが生育は概ね順調。青森は降雨で定植できない時期があり旧盆前に減りこむ予想も、回復は今後の天候次第。全体では入荷量微減。旧盆前にやや引き合い強まるが、店頭での動きは鈍く、秋刀魚に連動した荷動きも9月になってから。価格は前年、平年より弱め。
にんじん		6,269	98	6,384	147	82	146	0	0.0	北海道産中心の入荷で全体の約8割を占める。北海道は天候変動の影響を受け道南、道東ともイタミ、割れ等の発生により歩留まり低下が見込まれる。入荷量は前年並みだが、価格は品質低下の懸念もあり、現状、基調安での流れもあり前年例年を下回る見通し。
キャベツ類		15,333	99	15,675	80	88	74	0	0.0	群馬、岩手産中心の入荷で全体の約9割を占める。前年豊作だった群馬は平年並み、前年不作だった東北産は平年並みに生育回復。全体では予想入荷量は前年並みだが、品薄感も薄く、前年より若干安く、ほぼ前年並み。
ねぎ		4,187	やや増	4,221	322	87	284	105	2.5	茨城、青森、北海道中心の入荷。茨城は干ばつだった前年より肥大順調。東北・北海道産の作況も特に問題なく、予想入荷量は前年よりやや増。上旬は東北・北海道産の増量に伴い下げの展開だが、ねぎは夏場も需要が高く、中旬は旧盆がらみで上げ気配高まる。価格は高値だった前年を下回るが、平年並み。
きゅうり		8,008	102	8,292	264	87	243	385	4.8	福島、岩手中心。東北産は初期生育も良く、樹のつくりはしっかりしている。現状の生育は問題なく、平年並みと順調。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回るが平年並みを維持。
トマト		10,266	やや増	9,732	289	93	309	169	1.6	青森、福島中心の入荷となる。きゅうりと同様、東北産の生育環境は前年を上回る。北海道産は出荷前進のため、8月の出荷ペースは例年よりも緩慢だが、東京市場には前年を上回る入荷見込み。全体でも入荷量は前年以上と予想される。消費は堅調の見込みだが、入荷増を反映し価格は前年、平年よりもやや安い見込み。
なす		4,491	98	4,517	211	99	234	0	0.0	栃木、茨城、群馬中心。各産地台風8号の影響も小さく、現状、生育は概ね順調。7月までは曇雨天、夜温の低下等で入荷停滞の場面もあったが、8月は前年、平年並みに入荷安定の見通し。8月は旧盆に向かい入荷の山は大きくなり下げ足早まるが、月後半は減りながらの推移となり上げ気配強まる。